

下新川郡中教研 研究計画

会 長 松 島 悟
 会員数 66名

1 本年度研究の基本方針

- (1) 自主性・創造性・社会性を重んじ、自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成を目指し、各教科、特別の教科 道徳、特別活動等の実践的研究を推進する。
- (2) 「生きる力」を育むことをねらいとして、各教科、特別の教科 道徳、特別活動等の特質を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、個性を生かし主体的に課題を追究する生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。
- (3) 主題の解明を図るために、研究主題と研究内容 (P)、授業研究と研究発表 (D)、学力調査等 (S) のトライアングルの関係を重視し、研究を進める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	7	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 -言葉についての課題解決を主体的・対話的に行う授業づくり-
2	社 会	9	社会的な見方・考え方を働かせ、社会事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。
3	数 学	10	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現する指導はどうあればよいか。
4	理 科	10 (重複1)	自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。
5	音 楽	4	幅広い音楽活動を通して、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫-
6	美 術	3	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 -美術科で育成することを目指す資質・能力の三つの柱の実現に向けて-
7	保健体育	7	心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。
8	技術・家庭 (技術)	3	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の充実-

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
9	技術・家庭 (家庭)	3	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 ～生活にいかすための問題解決的な学習の充実～
10	英 語	8	コミュニケーション能力の基礎を養うには、どのように指導したらよいか。 － 4 技能を総合的に育成するための言語活動を通して－
11	道 徳	9 (重複)	主として自分自身に関する道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 － 互いに関わり合って道徳的諸価値の理解を深め合う学習活動－
12	特別活動	9 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 － 生徒が主体的に参加し、合意形成や意思決定を目指す話し合い活動を通して－
13	特別支援 教 育	8 (重複)	特別な支援を必要とする生徒が個性や能力を最大限に発揮し、進んで社会参加できるための指導はどうあればよいか。
14	保 健	3	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	事前研修会 全体研修会 部 会	朝 日 中	平成 30 年度事業・決算報告 令和元年度役員・事業・予算等の審議及び承認 研究組織・研究主題・年間計画の作成
6	部 会	朝 日 中 入 善 中 入 善 西 中	教材研究、研究の視点の明確化、指導案の作成と検討 授業研究、事後研究、発表資料検討 等
10	中学校教育 課程研究大会	各 会 場	研究授業、研究発表と協議等
1	事前研修会 部 会	朝 日 中	令和元年度事業経過・会計中間報告 令和元年度研究のまとめと反省 研究紀要の作成と配布

4 留意事項

- (1) 県中教研の研究主題を踏まえ、望ましい学習過程に着目して研究を推進する。
- (2) 指導案の作成、発表資料の検討等、必要に応じて部会ごとに増会する。
- (3) 特別活動、特別の教科道徳については、他教科との内容的・時間的な調和を考慮して研究を進める。